

令和4年度 校内研修

教材・教具レポート集



北海道帯広盲学校

- 目 次 -

1 平仮名指なぞりカード〈砂文字〉(書字学習)

2 拡大絵本 (国語)

3 パズル (国語)

4 朝の会、帰りの会カード (朝・帰りの会)

5 かたむすび (自立活動)

6 日課表 (日生・自活)

7 少しの押さえる力で使える定規 (算数)

8 算数 (数える) 教材集 (算数)

9 特殊音節読みカード・視覚障がい教育専門
性継承プロジェクト (教育相談・地域支援)

10 練習用なわとび (体育)

11 理科室の遊べる道具① (遊び)

12 「クラーク像はどこにある？」 (社会)

13 語句調べ (国語)

14 歌詞カード、楽譜 (音楽)

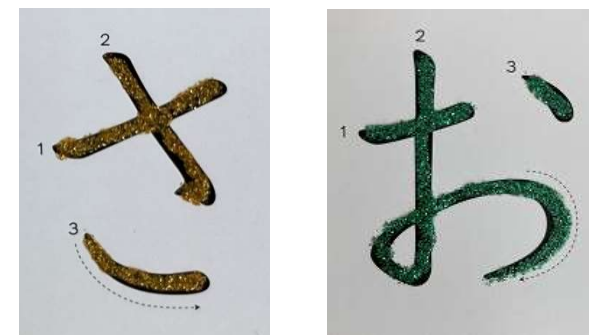
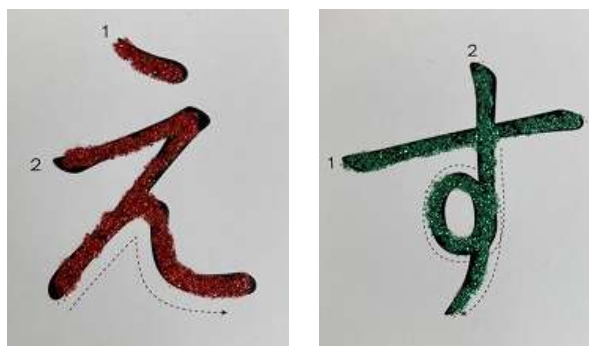
15 三色食品群・食品カード (食に関する指導)

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
平仮名指なぞりカード〈砂文字〉	国語・書字学習		
児童生徒の見え方 先天性緑内障 眼圧正常 右眼0.9 左眼：0.02 眼鏡使用			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ



○ラメのりでなぞり書きをした。

指でなぞることができるように、砂文字のようになぞらざらの触り心地にした。

○なぞり書きに使用する。

大きすぎるものではなく適当な文字サイズで、指でなぞりやすく、実際の書字に繋がしやすい。

○机上に並べて、マッチングやかた取りゲームのように使用する。

ゲーム性のある活動を通して、文字の読みを楽しく学習することができる。

■今回の実態ではこのサイズのカードを使用したか、年齢や実態に合わせた場合や、かるた遊びのような使用方法をメインに考えた場合は、さらに大きいサイズのカードで作成しても良い。

■今回の実態では見えにくい色がないため赤・青・金・緑の4色を使用したか、実態に応じて、見えやすさに配慮した色を使用する必要がある。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
拡大絵本	国語		
児童生徒の見える方 両 0.1			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ



○右側は、市販されている絵本。左側は、今回作成した手作り拡大絵本。

○課題の授業で、あいさつの学習の際、読み聞かせをしたときに活用した。パソコンでスキャンして、印刷のとき A4 サイズに拡大して印刷している。画用紙に印刷したものを貼り、本のように「しっかり貼れるスプレーのり」で、製本している。

○1 m 程離れたところからも見えること、迫力があり、児童の興味を引くことができ、学習に友好的であった。

■画用紙で製本したこと、仕掛け絵本でもあるため、圧手の本になってしまった。

■スプレーのりのため、若干貼り合わせた付近がべたついてしまった箇所があった。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
パズル	国語		
児童生徒の見える方 両 0.1			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ



○2Lサイズの絵をカラーコピーし、カラーボードのスプレーのりで張り付ける。2分割、3分割、4分割のパズルを作成する。



○2分割から児童に取組ませ、次に3分割、4分割と進む。分からないときは、完成した絵を提示することで、完成版を見ながら、取り組み、完成させることができた。

■2分割から、4分割を取り組ませると、分からなくなり、意欲が喪失しまい、「やらない」と拒否してしまったことがあり、2分割、3分割、4分割と段階を踏んで提示することが大切である。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
朝の会、帰りの会カード	朝の会・帰りの会		
児童生徒の見え方 女児：右0. 1、左0. 0 2 男児：両目0. 1			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ



○めくり式のカードにしたことで、児童が進行できるようにした。
 ○文字とイラスト両方に目がいくよう大きさを工夫した。
 ○底辺を折りたためるようにしたことで収納できるようにした。

■底辺の幅が狭かったため、安定感がない。
 ■終わりまでどのくらいなのかがわからないため、ぱっと見たときに見通しをもちにくい。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
かたむすび	自立活動		
児童生徒の見え方 遠方視力 右(0.4) 左(0.4) 両眼(0.7)			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ



○ひもを太く(タオル地のヘアバンド)、色違いのものを中心でつなげ、先を糸で巻いて固くし、板に貼り付けた。子どもの好きな色や素材を取り入れたこと、先を固くしたことで、扱いやすい様子が見られた。

■台にした板が軽く、力強く引っ張ると動いて危険。

次の教材は、ひもを細くしたものを使用する予定。教材を変えながら、リボン結びへとつなげたい。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
日課表	日生・自活		
児童生徒の見える方 右（０．４）左（０．３）両（０．４）			

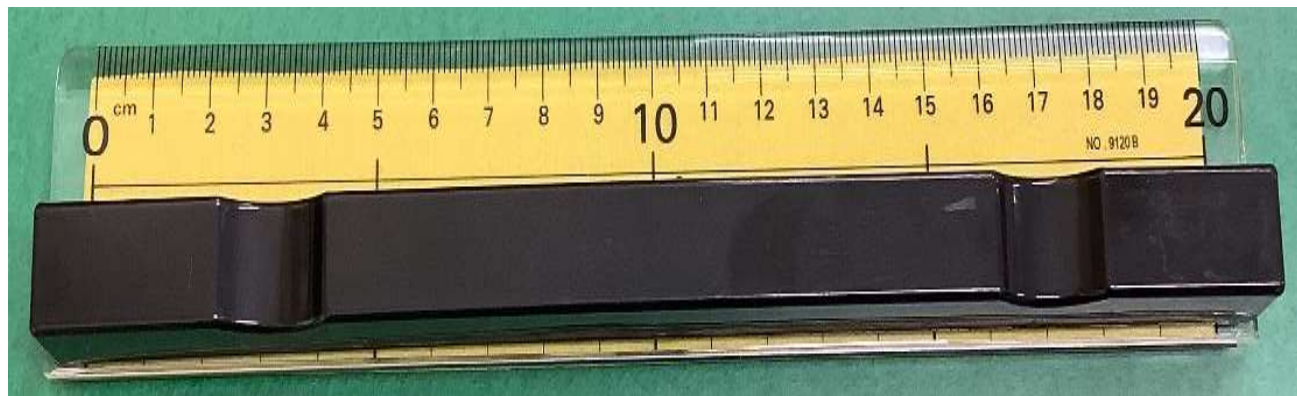
○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

月 日（ ）																								
<table><tr><td>1 あさのかい</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>2</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>3</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>4</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>といれに行く。</td><td></td></tr><tr><td>きゅうしょく</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>はみがき</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>5 ごみすてなど</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>6 こくご</td><td>せんせい</td></tr><tr><td>といれに行く。</td><td></td></tr><tr><td>かえりのかい</td><td>せんせい</td></tr></table>	1 あさのかい	せんせい	2	せんせい	3	せんせい	4	せんせい	といれに行く。		きゅうしょく	せんせい	はみがき	せんせい	5 ごみすてなど	せんせい	6 こくご	せんせい	といれに行く。		かえりのかい	せんせい		
1 あさのかい	せんせい																							
2	せんせい																							
3	せんせい																							
4	せんせい																							
といれに行く。																								
きゅうしょく	せんせい																							
はみがき	せんせい																							
5 ごみすてなど	せんせい																							
6 こくご	せんせい																							
といれに行く。																								
かえりのかい	せんせい																							
○担当者名の欄を空欄にした。 ○日課表横に職員の写真を配置可にした。 ■複数の職員が担当の場合の枠の工夫が必要。																								

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
少しの押さえる力で使える定規	算数		
児童生徒の見え方 遠方視力：右 0.3、左 光覚なし、両 0.3 その他：右半身麻痺			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ



【目的】

- ・麻痺のある右手を添えて、定規で線を引く手段を身につける。
 - ・麻痺のある右手を、机上にあげて学習できるように意識付けをする。
- ※定規で線を引くことのみを目的としており、長さを測る学習は行っていない。

【活動内容】

- ・1から20程度まである番号の点を、定規を使って順番に結んで行く。(点結び)

【材料】

- ・20cm定規 ・文鎮 ・フェルト
- ・両面テープ

【成果（○）と課題（■）】

- 自分から右手を机上にあげるようにすることができた。また、麻痺があっても、自分で定規を使えるようにすることができてきた。
- 用意した文鎮が想像より軽く、右手で押さえても少しずれてしまうことがあるため、もう少し重たいものにする必要があった。

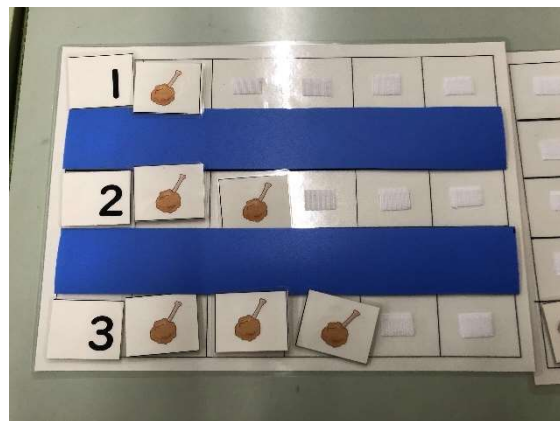
教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
算数（数える）教材集	体育		

児童生徒の見え方及び算数の力

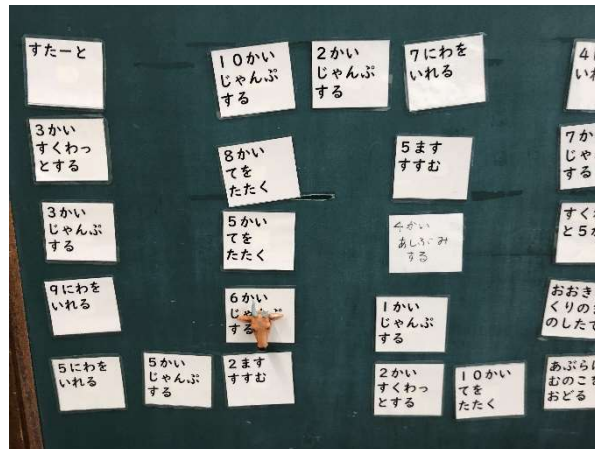
- ・遠方視力（右0.1 左0.06 両目0.1） タブレットを持たせると10cmくらいの距離で見ようとする。
- ・指さして、1～10個まで数えることができる。「〇個ください」の問いに対しては、1～2個ならほぼ間違えずにできる。

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点



○大好きな唐揚げを数える練習。ファスナーテープになっており、着脱可能。この他にラミネーションもある。様々な物を「数える」ことで、実生活の中で「数える」という行為を定着させたい。

■教材の課題点・失敗したところ



○「数える」行為を意識したすごろく。ジャンプや屈伸など体を使って数を数える練習を行う。本児の体を動かすことが好きな性格を考え作成した。

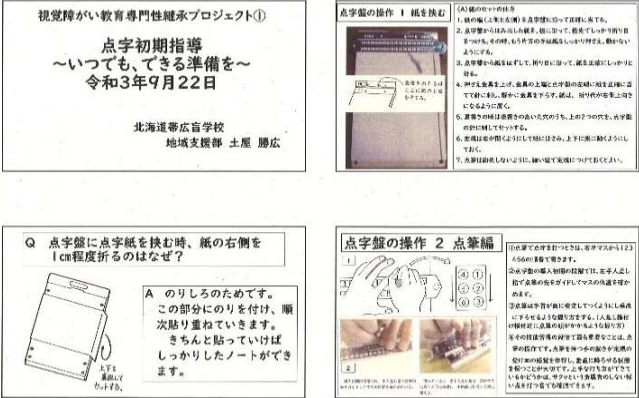


○給食の用具を使って、数える練習。カードを見せながら「ストロー2本ください」「皿、3枚ください」と指示を出す。「〇本」「〇枚」と物によって数え方が違うことにも気付かせたい。今は「1個ずつ」「2個ずつ」とやるとうまくいくことが多い。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
特殊音節読みカード・視覚障がい教育専門性継承プロジェクト	教育相談 地域支援		

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

特殊音節読みカード 	視覚障がい教育専門性継承プロジェクト 
○視覚認知・書字・読字を主訴とした教育相談で使用した。平仮名と片仮名については、学研や公文など市販のカードを使用できるが、特殊音については、市販されていないため、自作した。 ○特殊音の読み書きでつまづくケースが多く、その困難の解消に作成した。 ○個別に幼児・児童の語彙や理解に応じて、言葉や絵を変えて作成できるため、個別最適化しやすい利点がある。	○昨年度の動画作成研修で、「点字触読・両手読み編」を作成したことがきっかけで、続けているプロジェクト。昨年は PowerPoint、今年度は Keynote で研修用資料を作成している。 ○昨年の「新転任者研修」で「点字初期指導」今年度 4 月の全体研修で「盲児の歩行初期指導」、今後は、「盲児の珠算初期指導」と続けていく。 ○説明の際に、実際の指導場面の動画を見たり、点字の触読や、点字盤の操作、白杖歩行体験などの実技の時間を設けることで、指導の実際場面をイメージできるように工夫した。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
練習用なわとび	体育		
児童生徒の見え方			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ



○グリップの部分に塩ビ管を使用したことで、長さの調整がしやすい。長めにするだけで、なわに「輪(半円)」を作りやすくなる。

○なわの部分にビニールコーティングワイヤーを使用したことで、なわに張りを持たせることができ、遠心力をうまく利用することが難しくても、なわの「輪」を作りやすくなるため、引っかけにくくなる。

○回すことが上手になってきたら、なわの部分チューブ等別の素材に交換することで、一般のなわに感覚を近づけていくことができる。

■なわがうまく回せるようになり、連続して跳ぶことができるようになり、遠心力が働くほど早く回せるようになってくると、体に当たると痛い。また、遠心力でワイヤーが抜けてしまうことがある。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
理科室の遊べる道具①	遊び		
児童生徒の見える方			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ

ペットボトルロケット

上手くいけば
畑から南側の
フェンスまで
飛びます。



音採取器

色々な音が
大きく聞こえ
ます。



おゆまる

お湯に入れて
温めると柔らかく
冷えると固くなる



マジックサンド

水に入ると固
まる不思議な砂



電磁石

大人の力でも
引き離すのは
難しい？



その他

ちょっとあったら便利



教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
「クラーク像はどこにある？」	社会 (歴史)		
児童生徒の見え方 視力：右) 0.1(0.3)、左) 0.02(0.02)、両) 0.1(0.3) 最大視認力：1.0 (9cm、右)			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ

 授業用のスライド(keynote)	 Google ドライブに保存
○生徒に「Google Earth」で調べさせることも多いが、今回は、北海道にゆかりの深いクラーク博士であることから、クイズのような動画を作成した。 ○動画を流す前に、どこにあるか予想させるなど生徒の関心を高められるようにした。 ○動画は授業用の「Keynote」に貼り付けているが、手元のタブレットでも視聴できるように、「Google ドライブ」の生徒フォルダに保存し、どちらが見えやすいか選択するようにした。	■スロー再生などを効果的に使うとよかった。 ■動画そのものというわけではないが、生徒が札幌の位置関係を地図から読み取れるほどには把握できていないので、そのあたりを丁寧に扱うとよかった。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
語句調べ	国語科		
児童生徒の見え方 （矯正時）遠距離視力：右 0.3、左 0.02、両眼 0.3 最大視認力：1.0（視距離 9 cm、右目）			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ



iPad の辞書機能



Safari

○辞書を使用した意味調べをする際の時間削減のため、iPad による語句調べを行っている。

○iPad に初期搭載されている辞書機能（スーパー大辞林）のほか、safari での検索機能を使用し、語句を調べる。

○言葉の意味を調べる際にかなり時間を短縮することができる。

■出典がはっきりしない場合がある。

■調べた部分にマーカーを引いたりすることがないため、学びの蓄積につながりにくい（学びの蓄積が可視化されない）。

→単語ノートの作成 or 単語帳機能がついたアプリの使用などが考えられる。

〈参考資料〉

[孔子](#)（こうし）（前552／551—前479）の[言行録](#)。10巻20篇。[儒家](#)の通説では、孔子の死後、[弟子](#)たちがそれまでに書き留めていた師匠の語を論纂（さん）してつくった。ただし実際は、直（じき）弟子ではなく、弟子の弟子の手になる。その証拠に、『論語』のなかに出てくる弟子の称呼は呼び捨てが原則であるのに、曾参（そうしん）と有若（ゆうじゃく）だけは、曾子・有子と、敬称の「子」をつけてよばれる。これは、『論語』が曾参・有若の弟子によって編まれたことを物語る（唐の柳宗元（りゅうそうげん）らの説）。さらに、『論語』の前半と後半とでは[文体](#)がやや異なること、後半には小説的ストーリーもあることから、後半は三伝または数伝の弟子の手になるものであろう〔清（しん）の崔述（さいじゆつ）、日本の伊藤仁斎（じんさい）の説〕。

（上画像）日本大百科全書（ニッポニカ）の語釈

ろんご【論語】

中国、春秋時代の思想家孔子とその弟子たちの言行録。四書の一。二〇編。戦国時代初期から編纂（へんさん）が始まり漢代になって成立。「仁」を中心とする孔子およびその一門の思想が語られ、儒家の中心經典として中国伝統思想の根幹となった。日本へは応神天皇の代に伝来したといわれ、早くから学問の中心とされた。

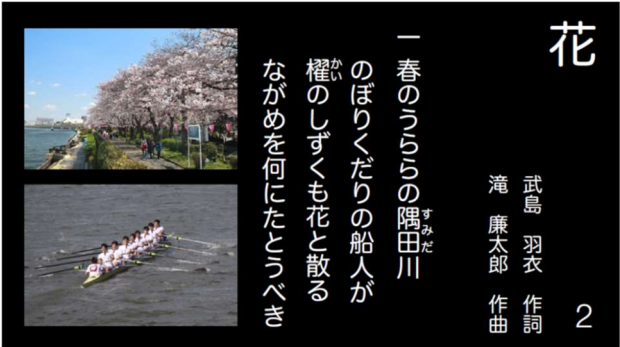
（左画像）

iPad（スーパー大辞林）の語釈

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
歌詞カード、楽譜	中学部音楽 (歌唱)		
児童生徒の見え方			
右 0.2 (0.3) 左 0.02(0.02) 両 0.2 (0.3) 左眼はほとんど見えていない。羞明も若干感じている。			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点 ■教材の課題点・失敗したところ

		
○旋律だけを抽出し、歌詞をなくすことで、音程や強弱記号などの基本的な情報を見ることができる。 ■題材によっては、何パターンも作成しないといけない。作成する負担が大きい。	○プレゼンテーションアプリで、歌詞に合わせた画像を挿入して歌詞カードを作成することで、わからない言葉を理解したり、歌唱しながら曲のイメージを膨らませることができる。 ○生徒自身で歌詞カードを作成させることができる。	＜参考＞教科書 ・旋律と副旋律＋歌詞が一緒に楽譜に書いてあり、情報量が多い。 ・ピアノ伴奏がのっている。

教材・教具交流会レポート

教材・教具名	使用授業・場面	対象学年	氏名
三色食品群・食品カード	食に関する指導		
児童生徒の見え方 遠方視力（右:0.2、左:0.02、両:0.2）近方視力（右:0.1、左:0.02、両:0.1）最大視認力（視標:1.0、視距離:11cm）			

○教材の工夫した点・みどころ・良かった点

■教材の課題点・失敗したところ



三色食品群と食品カードを使用して、栄養素の偏りや食事のバランスがみてわかる。



○複数人クラスでは板書で行う内容だが、机上で行うことができる。自由に食品カードを入れ替えることができる。

■もともと見え方に配慮して作成した教材ではないため、色のコントラストや文字の大きさ、カードの探しやすさに改善が必要であると感じる。

■書見台で使用できるようにくっつけられれば良かったと感じた。



令和 4 年 5 月 25 日 作成

令和 4 年 6 月 3 日 発行

令和 4 年度 教材・教具レポート集

発 行 北海道帯広盲学校
住 所 080-2475
北海道帯広市西 25 条南 2 丁目 9 番地 1
T E L 0155-37-2028
F A X 0155-37-3768
代表メール obihiro-sb-z0@hokkaido-c.ed.jp

学校ホームページ

